

2 せたがやノーマライゼーションプラン —(仮称)世田谷区障害施策推進計画—(素案)

この計画は、障害に関する施策の総合的かつ計画的な推進、障害福祉サービス等の提供体制の確保及び円滑な実現に向けた施策の方向性、サービス量の見込みなどを定める法定計画として策定するものです。

基本理念 障害のある人もない人もお互いの人格や個性を尊重して、
住み慣れた地域で支えあい自分らしい生活を安心して継続できる社会の実現

策定の背景

- ① **障害者権利条約の批准に向けた国内法の整備等**
● 障害者総合支援法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法等
- ② **地域で支えあい共に生きる地域共生社会の実現に向けた国内法の整備等**
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした共生社会の実現に向けた取組み
● 改正社会福祉法、改正バリアフリー法、読書バリアフリー法等
- ③ **障害福祉サービス等の提供体制の確保**
国の基本的な指針に基づく成果目標の設定
● 福祉施設の入所者の地域生活への移行
● 地域生活支援拠点等が有する機能の充実
● 福祉施設から一般就労への移行等

計画期間

令和3～5年度

計画の基本的な考え方

◆ 施策展開の考え方

- ① 障害に対する理解や配慮の促進
- ② 地域共生社会の実現に向けた参加と協働の地域づくり
- ③ ライフステージを通じた支援の仕組みづくり

◆ 共生社会に向けた取組みと地域包括ケアの地区展開との連携

- ① 自立支援協議会における地域課題の検討やネットワークづくり
- ② 区民や事業者など地域の多様な主体の参加と協働の促進
- ③ 地域包括ケアの地区展開と連携した地域づくりの推進

施策の体系及び計画目標

(①～⑧は施策の体系の大項目兼計画目標)

① 地域の支えあいの推進・障害差別の解消・権利擁護

地域共生社会をめざし、地域の支えあいや障害理解の促進等を推進します。

- ① 地域人材の育成、地域支えあいの推進
- ② 地域支援のネットワークづくり
- ③ 障害理解の促進
- ④ 障害差別の解消及び合理的配慮の提供の促進
- ⑤ 情報アクセシビリティの向上
- ⑥ 障害者虐待の防止の推進
- ⑦ 見守りの推進
- ⑧ 災害対策の推進
- ⑨ 権利擁護の推進

② 医療と福祉の連携・健康づくりの推進

要配慮児の早期発見・支援に向けて、医療・福祉・保健の連携を推進します。

- ① 医療と福祉の連携
- ② 医療費助成等の実施
- ③ 健康づくりの推進
- ④ 予防の推進

③ 住まいの確保、生活環境の整備

重度障害者に対応した生活の場の確保やユニバーサルデザインによる生活環境の整備に取り組みます。

- ① 居住支援の充実
- ② ユニバーサルデザインの推進
- ③ 移動のための支援の実施

④ 就労等の活躍の場の拡大

多様な働き方の支援、居場所やピア活動の場づくりなどの活躍の場を拡大します。

- ① 就労支援の充実 ② 雇用の促進
- ③ 工賃の向上 ④ 経済的自立の支援

⑤ 相談・地域生活支援の充実

相談支援の充実や地域移行、地域生活の支援に取り組みます。

- ① 相談支援の充実
- ② 早期支援の推進
- ③ 在宅生活の支援
- ④ 地域移行の促進と定着支援
- ⑤ 日中活動の充実
- ⑥ 地域生活の支援
- ⑦ 家族支援の実施

⑥ 教育・保育の充実、スポーツ等の余暇活動の支援

特別支援教育や障害児保育等の充実、障害者スポーツ等の余暇活動の支援に取り組みます。

- ① 教育・保育の充実
- ② 途切れのない支援
- ③ スポーツの推進
- ④ 文化芸術活動の振興
- ⑤ 生涯学習や余暇活動の支援

⑦ サービスの質及び人材の確保

障害福祉サービス等の質の向上や人材の確保に向けた支援等に取り組みます。

- ① サービスの質の向上
- ② 福祉・介護人材等の確保育成
- ③ 事業所の支援
- ④ 職員研修の実施

⑧ 障害福祉サービス事業等の運営

障害福祉サービス等のサービス量や成果目標を定めます。

- ① 障害福祉サービス等のサービス量の計画
- ② 障害福祉サービス等の成果目標

計画目標の達成に向けた重点的な取組み

- 精神障害施策 ● 医療的ケア児(者)の支援 ● 日中活動の場と住まいの確保 ● 活躍の場の拡大 ● 地域生活支援拠点等の体制整備
- 相談支援 ● 共生社会 ● サービスの質及び人材の確保 ● 乳幼児期支援の連携

計画素案に関するシンポジウム

内容／計画素案の概要説明、パネルディスカッション「地域共生社会の実現に向けた地域づくり」

① 9月29日(火)午後6時30分～8時30分 ② 成城ホール ③ 手話通訳、要約筆記あり。詳しくは、区のホームページをご覧ください。

④ 9月22日までに、電話またはファクシミリ(本シンポジウム名、住所、氏名、電話番号を明記)で ☎ せたがやコール (☎5432-3333 FAX5432-3100) へ 先着70人